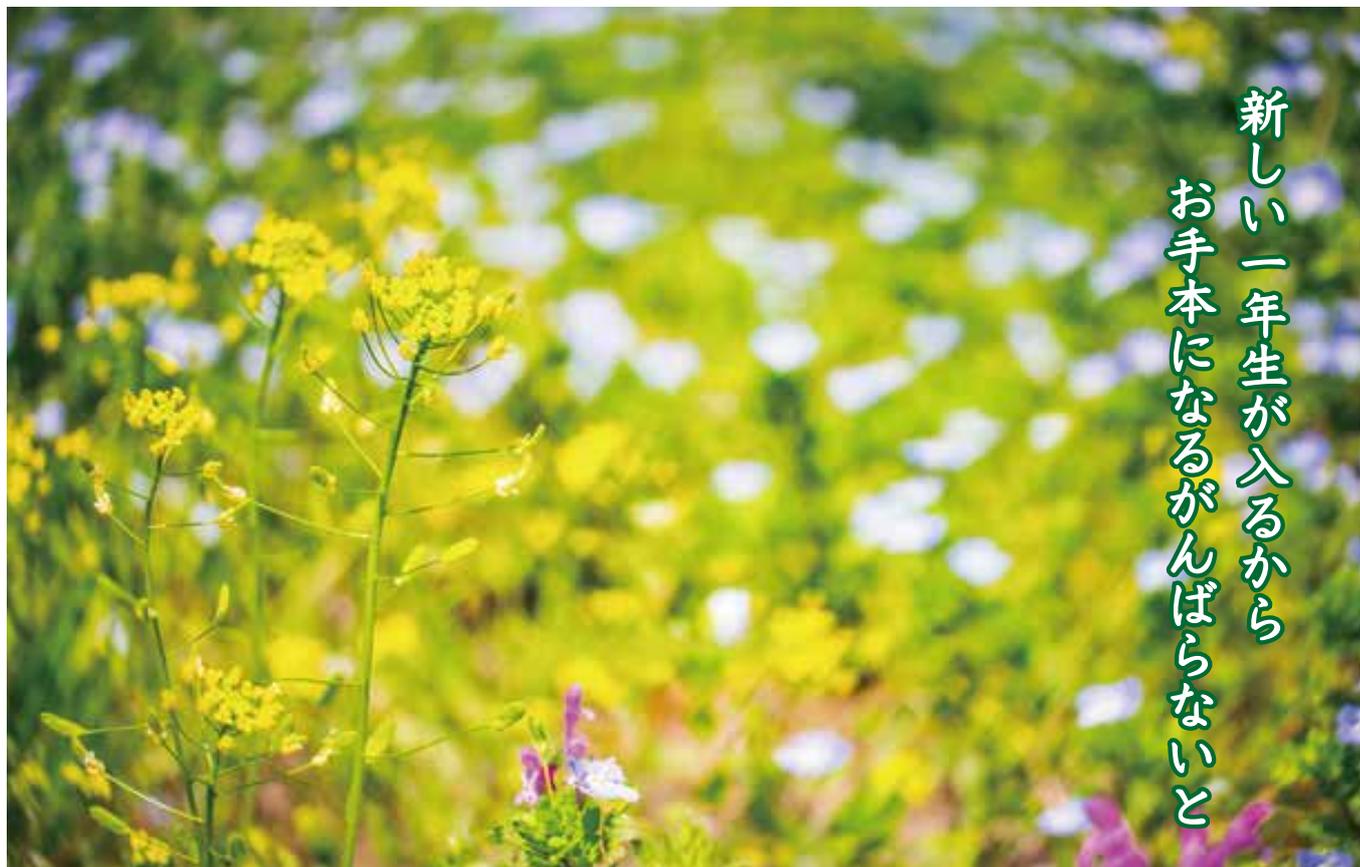


新しい一年生が入るから
お手本になるがんばらないと



米子校舎 小学四年 大井川華菜

君たち 僕たち



米子校舎 高校2年
矢倉 咲弥さん



大学受験科(イズム)
松原 小姫さん

「部活での活躍とか、将来の夢とか、よくある文章はやめてください。あと、偉そうな人だと思われるのも嫌です。」と注文の多い矢倉さん。大変謙虚な性格ですが、生命科学のレベルの高い仲間と切磋琢磨し、成績は極めて優秀です。特に数学が好きで、若葉のテキストを何度も解き直して確かな実力をつけています。

2年前に初めて会ったときは、人見知りで挙動不審だけど、かわいらしい猫ちゃんみたいだなあという印象でした。教え始めて一か月もたつ頃には仲良くなり、宿題の解答作りやテキストのミス探しなど、お手伝い係として活躍してくれるようになりました。時には人生相談にも乗ってくれるので、本当に感謝しています。

喧嘩するほど仲が良いといいますが、矢倉さんとは何度か揉めることがあります。ひどいときには一週間以上も口をきいてくれなかったのです。さすがに私もへこみましたね。今年はいよいよ勝負の3年生。これからは、お互いに無駄なバトルを繰り返さないように努力して、無事に大学入試を乗り切ろう。

(担当 小西)

高山みなみさんって知っていますか？鳥取が生んだ「名探偵コナン」と「ゲゲゲの鬼太郎」の両方の主役の声を担当する有名な声優さんです。「コナン」の作者、青山先生の出身地倉吉市のなしっこ館での「コナン」のイベントに出演されたこともあります。

今回紹介する松原さんは、高山さんに憧れて、小学生の時そのイベントに参加したそうです。会場では高山さんとお客さんが一緒に台本を読むという企画に積極的な名乗りを上げたそうです。

「迷いながら前に進む。」これは高山さんのセリフの一つです。今年、松原さんがもう一度大学受験を目指すべく迷っていた時に、背中を押してくれた言葉たそつです。

松原さんは高校時代、弦楽部に属してコントラバスを演奏。趣味では漫画を通じて色々な考え方を身につけました。自分を表現することも大好きなのだそつです。

そんな活動的な彼女は、春から広島大学法学部に進学します。大学在学中は、資格をいっぱい取りたいと新生活への意欲を燃やしています。

(担当 河田)

卒業生はいま!



(株) アート建工
代表取締役
魚谷 宗司 さん

office&campus



二十代の頃、共通の友人を介して知り合い、三年前に偶然の再会。公共事業を手掛ける建設会社の三代目として生まれ、お客様との関係の中で共に作り上げる家づくりの楽しさ、固定観念にとらわれない自由なビジネスモデルに魅了され、平成二十四年にグループ会社の一つである地域密着型の工務店(株)アート建工で代表取締役に就任。しかし、彼の経営者人生は決して順風満帆ではなかった。様々な難題にぶつかって、銀行からの融資はストップ。いつ倒産してもおかしくない状況にまでなっていた。それでも彼の情熱は燃え尽きることはなかった。自分への投資を惜しまず、全国を飛び回り、情熱を形にする方法を学び続けた。そして、業界では「型破り」とも考えられる革新的な経営・業務手法を次々に導入。分譲型販売では、ほぼ百分の成約率という奇跡の数字を叩き出し、また着工棟数では鳥取県一位を獲得。彼の「家づくり」への圧倒的な情熱が、念願のマイホームに幸せな未来を思い描くお客様に、まっすぐ誠実に届いている証です。そして、売上高は驚異の十倍増を実現し、社員数は約七十名まで増員。かつては、ミスした社員を怒鳴り散らすワンマン経営タイプだったが、社員が委縮し、言いたいことも言えない指示待ち体質の会社になったことに絶望し、社員が自由に話せる会社を目指した人事改革も急成長の鍵たそです。趣味は料理で、料理教室を開くほどのプロ級の腕前。米子東高から同志社大学卒業。座右の銘は、「経営と料理は似ている。かき混ぜすぎず、目を離さず。」(担当 角)

今年もたくさんの感動をありがとう。合格発表の日の一コマ。



三月一八日は鳥取県立高校入試の合格発表日。ここ米子校舎では恒例の合格パーティーを開催しました。ただし、時間を短縮して、飲食は取りやめて、記念撮影もマスク着用で。米子東高校の定員が四〇名減少し、米子西高の倍率が例年になく高かった厳しい受験を乗り越えた生徒たちが集まりました。本当にご苦労様でした。次は高校生クラスで待つていきますよ!

(担当 門脇)

学園NEWS

米子校舎

職員随想

10年前の震災

板見 拓史



早いもので今月の11日で、東日本大震災から10年の月日が経ちました。連日テレビで震災の関連番組が放送されています。震災被災者の現状や、福島第一原発の放射能漏れは何故防げなかったのか等、興味深い内容の番組が多くありました。中でも、3月7日に放送されたNHKの「サイエンスZERO」で地震学者達が、「地震学の敗北」と向き合っている姿が印象に残りました。というのは、私も10年前の震災で地震研究の限界を強く感じたからです。

私は、1998年から2008年まで宮城県の仙台市に住んでいました。宮城は以前から地震が多く、私が住んでいた10年間で、県内で震度6弱、強の地震が合計5回もありました。そのような地域のためか、大学の授業で宮城県沖地震について勉強した事があったのですが、そのときは、プレートの歪みにより、20~30年に1回、マグニチュード7.5クラスの地震が起こる事を教わりました。大地震は周期的に起こるもの、それによりエネルギーが分散されるので、マグニチュード8.5クラスの超巨大地震が起こる可能性は極めて低いという認識をずっと持っていました。(因みに、マグニチュードが1大きくなるとエネルギーの大きさは、約32倍になります。)大学の教授も同じ認識だったと思います。そのため、10年前の地震は、全く予想ができません、大変驚きました。(前震が大きかったので、ほとんどの人がそれを本震と勘違いしたようです。)

私はずでに、米子に戻って来ていたので、被害を免れましたが、大学の同級生は、被災した人が多くいました。亡くなった人がいなかったのは、不幸中の幸いでした。米子に戻ってからずっと、仙台で以前お世話になった人の現在の様子が気になっているのですが、遠い事もあり仙台を訪れる機会がありません。話を聞いた限りでは、私がかつて住んでいたアパートの部屋は、震災後の一時期、震災ボランティアの事務所になっていました。現在は復興が進み、昔と同じように学生たちが利用しています。また、学生時代のバイト先は工事関係者にセメントや鉄筋等を販売する店だったので、震災後は復興工事のため大繁盛して、大忙しだった所です。最近では、忙しさが落ち着いてきた所に、コロナ禍でまた、違った意味で大変だとのこと。早くコロナが収まり平穏な日常に戻って来る事を願うばかりです。

最後に、県立入試について少し。震災から10年という事もあり、緊急地震速報等の地震関連の問題が出題されると予想していましたが、残念ながら出ませんでしたね。地学分野は、天体と気象からの出題でした。天体で一つ気になった問題があるので、皆さん考えてみて下さい。

(問題)夏至の日、最も影が長くなるのはどこでしょう? (少し変えています。)

ア 正午の鳥取 イ 正午の沖縄

ウ 午後4時の鳥取 エ 午後4時の沖縄

一見簡単そうに見えるのですが、実際は次の3点を考慮しなければいけません。意外と難しいです。(答えだけなら、直感で分かります。)

- ①夏至の日は、南の方(正確には北緯23.4度に近い方)が南中高度は高い。
- ②夏至の日は、北に行くほど昼の時間が長い。
- ③日本では、西に行くほど南中時刻が遅い。これらの事を総合的に考えると、特に③の影響が強いので、「ウ」が答えになる事が分かります。もっと詳しく理解したい人は、カシオ計算機の計算サイトを利用して下さい。自由研究に使えるようなデータが山ほどありますよ。



どの人がそれを本震と勘違いしたようです。)